

石川県能登島ガラス美術館だより

Notojima Glass Art Museum : NEWSLETTER

発行 / 2020年3月25日

第26号

- 目次
- 1 能登島ガラスコレクション作品紹介
 - 2 これまでの展覧会・イベント(2019年度事業報告)
 - 3 これまでの展覧会・イベント(2019年度事業報告)
 - 4 2019年度ガラ美の足あと / 2020年度の活動によせて / トピック① / 学芸員のおすすめ図書
 - 5 これからの展覧会(2020年度事業予定) / 石川県七尾美術館で開催予定の2020年度の主な展覧会
 - 6 トピック② / 美術館ボランティア募集 / ガラ美のおすすめ利用サービス / 美術館インフォメーション

能登島ガラスコレクション 作品紹介



スウェリング・ボトル / 志賀英二 / 2001年

宙吹きで作られた5色のボトルは、それぞれが違ったパターンの渦巻き模様を持っています。渦巻き模様の線は場所によって縦縞になったり、横縞になったり、ポコポコとランダムに膨らんだ形に添ってさらに複雑に変化しています。

溶けたガラスを吹き竿に取って、そこに息を吹き込んで成形する宙吹きガラスは、作家の息づかいや動きがダイレクトに形に反映される技法です。作家は宙吹きすることで、ガラス素材が持つ躍動感や生命力、リズムを形に留めようとしています。それぞれが個性を持つ5点からなる本作は、それが全体として軽妙なリズムの音楽を奏でているかのようです。

「百彩鉢」というタイトルのお通り、豊かな色彩と模様を持つ作品です。13本の異なるパターンの帯が放射状に配されて鉢を形づくっています。

作家は電気炉を使ったキルンワークと呼ばれる技法を主に用いて作品を制作しています。明るい色のガラスカレットを中心に選んで板ガラスを作り、それをモザイク状や板状に切って石膏型の中に並べて炉の中で焼成します。色や形のバランスを考えて配置された色ガラスは、熱で溶け、型の中で一体化します。そうやって作られた本作は、同系色や反対色が効果的に組み合わせられ、厚めのどっしりした量感を持ちながらも、軽やかで楽しい印象を与えます。



百彩鉢 / 神田正之 / 2007年 / 撮影: 岡村喜知郎

これまでの展覧会・イベント (2019年度事業報告)



巡回展

'18 日本のガラス展

会期/前期 2019年4月6日(土)～5月19日(日) 後期 2019年5月25日(土)～7月7日(日)

開館日数/86日間 入館者数/10,302人

主催/石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)、日本ガラス工芸協会

日本ガラス工芸協会(1972年発足)が3年毎に開催している展覧会。14回目となる本展では、会員の最新作と、一般公募で入選した作品あわせて111点を展示しました。東京会場での開催後、愛知、三重、兵庫と各地を巡回。当館では、会員投票によって選ばれるJGAA賞を受賞した朝倉祐子さん、新倉晴比古さん、山田輝雄さんの作品と一般公募での受賞作品5点を全会期で展示し、日々進化し続ける現代ガラスの多種多様な表現をご覧いただきました。

◆会期中の関連イベント

スペシャルワークショップ「古代の物質『ファイアンス』で小物づくり」

開催日時/2019年6月1日(土) 14:00～、2日(日) 10:00～

講師/山花京子氏(東海大学文化社会学部アジア学科准教授)

場所/別棟2F 参加費/1,200円 参加者数/28人



特別展

田嶋悦子 花咲きぬ

会期/2019年7月13日(土)～9月29日(日) 開館日数/76日間 入館者数/11,966人

主催/石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

陶とガラスを組み合わせた生命力あふれる立体造形作品で知られる田嶋悦子の個展を開催。陶芸作家として活動していた作家がガラスを作品に取り入れ始めた1990年代の「Cornucopia(コルヌコピア)」シリーズから、最新作の「花」シリーズまでを紹介しました。特に、鮮やかな黄色を用いた近年の作品群が、しなやかで力強い存在感を放つ展示になりました。

◆会期中の関連イベント

アーティストトーク

開催日時/2019年9月29日(日) 14:00～15:30

講師/田嶋悦子氏(本展出品作家)、金子賢治氏(茨城県陶芸美術館館長)

会場/多目的ラウンジ 参加費/無料(高校生以上は別途観覧料必要) 参加者数/37人



企画展

藤田喬平 創作の軌跡

会期/2019年10月5日(土)～12月1日(日) 開館日数/56日間 入館者数/6,212人

主催/石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

戦後日本のガラス芸術を切り拓いた先駆者の一人、藤田喬平(1921-2004)の創作の軌跡をたどる展覧会。琳派の装飾様式をガラスで表現した代表作「飾篭かざりばこ」シリーズ、新たな境地を求めヴェネチアで制作した「ヴェニス」シリーズ、大作「オブジェ」の大きく3つの作品群を軸に作品を展示しました。ヴェネチアでの制作時に描いた作品スケッチとあわせて展示することで、藤田の創作に対する姿勢や思考の一端に触れる展覧会となりました。

◆会期中の関連イベント

スペシャルワークショップ「オリジナルカラーのジェルキャンドルづくり」

開催日時/2019年11月23日(土・祝)、24日(日) 10:00～11:30、13:30～15:00

会場/会議室 参加費/500円(高校生以上は別途観覧料必要) 参加者数/16人



巡回展

国際ガラス展・金沢2019 in 能登島

会期／2019年12月7日(土)～2020年2月16日(日) 開館日数／66日間 入館者数／3,548人

主催／国際ガラス展・金沢開催委員会

〔構成〕石川県、金沢市、金沢商工会議所、(公財)石川県デザインセンター

今回で14回目となるガラスの国際公募展の能登島巡回展。世界39の国と地域から357点の応募があった中から、入賞・入選作品57点を紹介しました。ガラス素材そのものの可能性を探求し、ポテンシャルを引き出し、新たな造形表現へと取り入れようとする意欲的な若手・中堅作家の活躍が目覚ましい、まさに「世界のガラス・シーンの今を展望する」見ごたえのある展覧会となりました。



テーマ展

色とりどりの

会期／2020年2月22日(土)～5月10日(日) 開館日数／77日間

主催／石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

ガラスの「色」をテーマに、当館の収蔵作品を紹介する展覧会です。溶けたガラスに鉱物を混ぜることで生まれる鮮やかな色ガラスは宝石のような輝きを放ち、私たちの目を楽しませてくれます。本展では、配色の妙、光と色の関係、色が意味するもの、芸術家との協働による意匠における色の表現などに着目し、各展示室で異なる視点からガラスの色を楽しんでもらえるような構成となっています。



2019年度 主なイベント活動

●「'18 日本のガラス展」関連ワークショップ 古代の物質「ファヤンス」で小物づくり

開催日時／2019年6月1日(土) 14:00～、2日(日) 10:00～

焼くと表面にガラス質の層ができる古代エジプトの不思議な物質「ファヤンス」を用いたワークショップを実施。研究者である山花京子先生の指導のもと、古代エジプトの護符やオリジナル小物を作り、素材の面白さとともに歴史も体験できる時間になりました。



●「田嶋悦子 花咲きぬ」関連プログラム アーティストトーク

開催日時／2019年9月29日(日) 14:00～15:30

展覧会クロージング・イベントとして、田嶋悦子氏によるトークを開催。前半はこれまでの作品制作について、後半は金子賢治氏(茨城県陶芸美術館館長)との対談の形で、制作において目指すものから、工芸、素材、美術の関係についてまでお話をうかがいました。



●「藤田喬平 創作の軌跡」関連ワークショップ オリジナルカラーのジェルキャンドルづくり

開催日時／2019年11月23日(土・祝)、24日(日)
10:00～11:30、13:30～15:00

「色」を重視した作家にならって、ガラスとの類似点が多いジェルワックスを使ってオリジナルの色づくりを体験するワークショップを開催しました。赤、青、黄、緑から選んだ2色を組み合わせ、その溶け具合によって多彩な色合いのキャンドルが完成しました。



●教育普及事業 バーナーワークデモンストレーション

開催日時／2019年8月11日(日)、12日(月・振休) 10:00～16:00
会場／別棟2F 実演／齊藤秀輝氏、齊藤悠子氏、高田範子氏

夏の恒例行事、北陸を拠点に制作を行う作家たちによるバーナーワーク実演イベントを今年も実施しました。炎を操る華麗な技を目にした見学者からの様々な疑問や質問に、楽しくわかりやすく答えてくれる作家たちの話術もこのイベントの楽しみのひとつです。



2019年度 ガラ美の足あと

【教育・普及】

4月28日(日)、5月4日(土・祝)

「絵本のじかん～絵本で感じる作品世界～」

参加者数/40人

絵本/『いちご』(作・絵:新宮晋、文化出版局)

『たんぼちゃんとうすみれちゃん』(作・絵:まえをけいこ、スカイフィッシュ・グラフィック)

5月9日(火)

リクエストワークショップ(ほくでんツアーズ)

参加者数/35人

5月19日(日)

リクエストワークショップ(吾妻町えびす会)

参加者数/24人

6月1日(土)、2日(日)

スペシャルワークショップ「古代の物質『ファイアンス』で小物づくり」

参加者数/28人

講師/山花京子氏(東海大学文化社会学部アジア学科准教授)

6月8日(土)

リクエストワークショップ(西念会)

参加者数/18人

6月10日(月)

リクエストワークショップ(米泉校下婦人会)

参加者数/40人

7月4日(木)

リクエストワークショップ(七尾市立能登島小学校3年生) 参加者数/16人

7月27日(土)、28日(日)

「ガラ美感謝祭～石川県能登島ガラス美術館は7月生まれ♪～」

入館者全員に美術館オリジナルグッズをプレゼント(両日)

七尾市民無料デーには入館先着100名様に限定グッズをプレゼント(7/28のみ)

7月28日(日)、9月15日(日)

「絵本のじかん～絵本で感じる作品世界～」

参加者数/15人

絵本/『あした花になる』

(作・絵:いもとようこ、岩崎書店)

8月11日(日)、12日(月・振休)

「バーナーワークデモンストレーション」

見学者数/632人(のべ人数)

9月29日(日)

アーティストトーク

参加者数/37人

講師/田嶋悦子氏(出品作家)、金子賢治氏(茨城県陶芸美術館館長)

10月13日(日)

「絵本のじかん～絵本で感じる作品世界～」

参加者数/6人

『いろいろのほん』(作:エルヴェ・テュレ、訳:谷川俊太郎、ポプラ社)

11月4日(月・祝)

出張ワークショップ

(わいわい能登島ふれあいまつり)

「ビーズでつくるアクセサリ」

参加者数/48人

11月15日(金)

リクエストワークショップ

(県政バス 田鶴浜地区地域づくり協議会)

参加者数/30人

11月20日(木)

リクエストワークショップ(七尾市教育研究所)

参加者数/7人

11月23日(土・祝)、24日(日)

「オリジナルカラーのジェルキャンドルづくり」

参加者数/16人

1月3日(金)

「絵本のじかん～絵本で感じる作品世界～」

参加者数/10人

絵本/『マシューのゆめ えかきになったねずみのはなし』(作:レオ=レオニ、訳:谷川俊太郎、好学社)

2019年12月～2020年2月の毎土日・祝日・振休

「冬はガラ美でほっこり! ガラス彫刻体験」

参加者数/181人

【収集・保存/調査・研究】

新収蔵作品・資料(購入) 6作家6点
(寄附) 2作家11点

コレクション作品撮影 19点

作品修復 1点

2020年度の活動によせて

県内唯一のガラス美術館として地域に親しまれている石川県能登島ガラス美術館は、ガラス製造の歴史や優れたガラス作家の作品を展示紹介するとともに、創造性豊かな作家のエポックともいえる作品を収集し、未来に残していく役割も担っています。今年度は、国内外からの評価が高い作品を紹介する展覧会を開催し、また個性的で魅力あふれる作品を収集することもできました。来年度は、ガラスと光との関係に着目した企画展「ガラスと光と」、孤高のいけばな作家が目指したガラス器を紹介する特別展「中川幸夫のガラス(仮)」、コレクション



観田健治館長

の中から秀逸の作品を展示するテーマ展「探求と創作」と、さらに充実した展覧会を開催します。ぜひご来館し、表現と創造の魅力をお楽しみください。

トピック①

新収蔵 藤田喬平作品スケッチ

展覧会「藤田喬平 創作の軌跡」にて展示したスケッチと屋外作品「蔵」のスケッチをあわせて10点を、新たに収蔵することになりました。作品の実寸大に描かれたスケッチは設計図としての役割を持ち、制作時には職人たちとの意思疎通を図るためのツールとしても使われました。作品とスケッチを見比べることで、藤田の制作に対する様々な思考を読み取ることができます。



【学芸員のおすすめ図書】

『北欧デザイン 2 プロダクト』(渡部千春 著、2003年、プチグラパブリッシング)

北欧デザインについて書かれた全3巻の第2巻で、プロダクト(製品) デザインを特集しています。ロイヤル・コペンハーゲン、アラビア、イッタラ、ルイス・ポールセン、レゴなど、日本でも人気のブランドとその製品が紹介されています。写真を多く使ったビジュアルブックですが、年表やキーワード集なども掲載されていて、「機能性と美の共存」を実現してきた背景や北欧デザイン史を概観することができる事典のような一冊です。何より写真が美しい!



これからの展覧会 (2020年度事業予定)

企画展

ガラスと光と

会期 / 2020年5月16日(土)～8月30日(日)

ガラスと光はとても密接な関係にあります。技法を駆使して生み出された形や質感、ガラスの中の空間は光と結びつくことで強調され、作品の印象を一変させます。光はガラスという素材の表情を引き立てる重要な要素の一つなのです。また、ガラスが光を反射拡散、あるいは内部に留めることで、触れることができない光の存在を私たちに意識させます。ガラスを通して見る光は多彩であり、ガラスは光を演出する装置のようでもあります。互いの存在を引き立たせる関係性をいかした造形は、見る者の感覚を揺さぶり、これまで気づかなかった新たな思考をもたらすことでしょう。光とガラスとによって浮かび上がる作品世界をご覧ください。



樹海#1902 / 佐々木雅浩 / 2019年 / 作家蔵

特別展

中川幸夫のガラス(仮)

会期 / 2020年9月5日(土)～12月13日(日)

中川幸夫(1918-2012)は既存の華道流派に属することなく、独自の花の表現を追求した孤高のいけばな作家です。花が生きて死ぬまでのあるがままの命のありようを生けた中川の作品や制作態度は、ジャンルを超えて今なお多くの作家たちに影響を与えています。

中川は^{るっぽ}埴塙の中で溶解したガラスに感じた生命を花に重ね合わせ、ガラスを単なる花器としてではなく、花と等価の素材として作品の中で表現していたことから、本展では、中川が自身のいけばなのために制作したガラス作品を中心に、いけばな作品の写真もあわせて展示します。徹底して自由であり続けた中川幸夫の「命」の表現の世界をぜひご覧ください。



花神へ / 中川幸夫 / 1975年頃 / 個人蔵 / 撮影: 高橋章

断裁ライン

テーマ展

探求と創作

会期 / 2020年12月19日(土)～2021年4月18日(日)

反射と透過、脆さと硬さ、液体であり固体、透明と不透明、無色と有色。ガラスは、そのように相反する性質が矛盾なく同居している不思議な素材です。そんな素材を前にして沸き起こる好奇心や探求心、創造力をもって、作家たちは独創的な造形を生み出しています。本展では、近年収蔵となった作品のお披露目もあわせて、当館収蔵品をとおして、作家が思索と試作を繰り返す中で導き出したかたちとその多様な表現を紹介します。



内なる世界へ VIII / 小田橋昌代
2016年 / 石川県能登島ガラス美術館蔵
撮影: 岡村喜知郎

ガラ美から
車で30分!

石川県七尾美術館で開催予定の
2020年度の主な展覧会

開館25周年記念特別展 長谷川等伯展
～能登の信春～ The time of young Tōhaku～
会期 / 2020年4月25日(土)～5月24日(日) (会期中無休)

第76回現代美術展 七尾展
会期 / 2020年5月29日(金)～6月21日(日)

開館25周年記念特別展
黄金期の浮世絵 歌麿とその時代展
～美人画と役者絵
会期 / 2020年8月1日(土)～9月13日(日) (会期中無休)

能登ゆかりの名品展
会期 / 2020年9月19日(土)～10月25日(日)

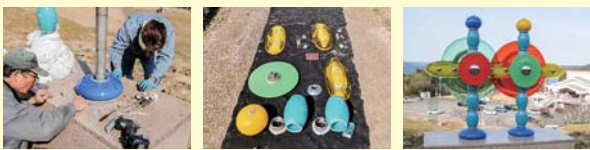
2020イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展
会期 / 2020年11月6日(金)～12月13日(日) (会期中無休)

詳細は石川県七尾美術館まで (TEL:0767-53-1500)

トピック②

「語らい」修復 ケガが治ってよかったね

夏に屋外展示作品の「語らい」(横山尚人、1991年)に破損が見つかり、ずっとシートをかぶせていましたが、3月1日によやく新パーツとの取替作業が完了しました。型吹きの木型を特注したり、ガラスをもっと厚くしてもらったりと、作家の横山氏と相談しながらパーツを再制作しました。パーツ1個の交換とはいえ、作品をほとんど解体するため、1日がかりの作業でしたが、お天気にも恵まれ、無事終了。1991年に設置してから何度か修復しながらも、吹きさらしの屋外で健気に頑張ってくれている作品です。ぜひ会いに来てくださいませ!



美術館ボランティア募集

美術館活動をサポートして下さる方を募集しています。当館のボランティアは登録制です。お気軽にお問合せください。

募集対象 / 高校生以上で説明会にご参加いただける方(説明会は随時開催)

活動内容 / ①イベント、ワークショップのお手伝い ②団体鑑賞サポート

活動時間 / 1回につき3時間以上

*1回の活動につき当館招待券を2枚進呈します。

受付期間 / 2020年3月1日(日)～2021年2月28日(日)

美術館インフォメーション

◆観覧料

高校生以上 800円
20名以上の団体 700円
中学生以下 無料

*障害者手帳をお持ちの方は手帳のご提示で観覧料が減免になります。
その他、各種割引、減免金額については、直接お問合せください。

◆休館日

毎月第3火曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月1日)
展示替え、館内整備期間

*展示替え休館日等は当館HPや年間スケジュールでご確認ください。

◆開館時間

4月～11月:午前9時～午後5時
12月～3月:午前9時～午後4時30分
*入館は閉館時間の30分前まで。

◆交通案内

自動車 /

金沢方面から・・・「のと里山海道」徳田大津JCTを經由、「能越自動車道」と倉ICから約20分

富山方面から・・・「能越自動車道」氷見ICを經由、七尾ICから約35分

電車・バス /

金沢方面～和倉温泉駅・・・金沢駅から特急列車で約1時間

富山方面～和倉温泉駅・・・高岡駅から和倉温泉行きバス「わくライナー」で約1時間45分

和倉温泉駅～美術館・・・能登島交通「のとしま臨海公園ゆき」バスで約30分

「美術館前」下車すぐ

*能登島交通バスご利用の方へ
バス停「美術館前」は乗車と降車の場所が異なりますのでご注意ください。

飛行機 /

のと里山空港から車で約1時間

◆公式HP

<http://nanao-af.jp/glass/>

◆公式ブログ

<http://notojima-garabi.cocolog-nifty.com/blog/>

◆公式Facebook

<https://m.facebook.com/notojimaglassartmuseum/>

｜ ガラ美のおすすめ利用サービス ｜

●ガラ美のわくわくシート (子ども向けセルフガイド)

当館の収蔵品について学べる小学生向けのワークシートです。ご家族やお友だちと一緒に考えることで、作品鑑賞がより楽しくなる内容となっています。ぜひご利用ください。



●ミュージアムグッズの販売

美術館の受付で、展覧会図録のほかコレクション作品の絵ハガキや筆箋などのオリジナルグッズを販売しています。今年度は新たに中国清朝ガラスのクリアファイルがラインナップに加われました。ぜひご利用ください。



●七尾市文化施設等共通観覧券

七尾市の文化施設を有効期限内なら何度でも利用できる共通観覧券を販売しています。当館でも購入＆利用ができます。能登観光や、美術館・博物館めぐりが好きな方におススメです。

2日間パスポート:一般1,000円、学生(高・大)800円

1年間パスポート:一般2,600円、学生(高・大)1,300円

【利用対象施設】 能登島ガラス美術館、七尾美術館、七尾城史資料館・懐古館、能登国分寺展示館、中島お祭り資料館・中島お祭り伝承館、明治の館

